

おおさか

発行所: 大阪府看護連盟

〒536-0014

大阪市城東区鶴野西2丁目5番25号
ナーシングアート大阪

電話 06-6964-5655

FAX 06-6964-5665

発行人: 前川 マキコ

発行日: 平成22年5月24日

印刷所: 新栄印刷

No. 10-2(通-40)

特集

平成22年度

通常総会開催

6月3日(木) 大阪ビジネスパーク円形ホールにて



「輝いて咲く」 写真 小阪佳代氏

平成22年度 大阪府看護連盟総会に想う … 2	平成22年度 予算(案) …… 6
平成22年度 通常総会プログラム …… 3	平成22年度 役員候補(案) …… 7
平成22年度 スローガン(案) …… 4	研修会報告 …… 7
平成22年度 活動計画(案) …… 4~5	青年部立ち上げ／お知らせ …… 8

22年度 大阪府看護連盟総会に想う

看護の代表を国政の場に



大阪府看護連盟会長

前川 マキコ

気候不順の日々に

雨の多かった春の恵みか大阪城公園の緑の木々の美しさに心が和みます。

第22回参議院選挙に向けて、走りつつ、悩みつつ、どうすればいいのかと皆で話し合い、アイデアを寄せあい、声の届く支部を増やそうと互いに努力し、会員の皆さんに多くの力を頂き、地域支部11と施設支部20の計31支部になりました。ありがとうございました。

きっと、きっと、結果につながると信じています。

遅まきながら青年部も立ち上がり行動を開始、若者、看護学生へのアプローチが、少しずつ、応援ブログに、うれしい、うれしい、こんな、コメントが「先日、母校の卒業式に、おめでとうの言葉とともに、看護連盟のお話をしてきました。看護職と政治の関係についてはピンとこない様子でしたが、話が進むにつれ退屈そうにしていた学生もうなずくように聞いてくれました」

たかがいさんが私たちの代表。みんなで応援しようね。

「日本社会の生命を支えていく看護部門としては、喜び、悲しみ、楽しみ、感動など、人が活動していくに必要な部分に携わる職業ですから、多種多様な関わりで対応しなければなりません。厳しい状況下で、私たちは堂々と看護師としての仕事を誇りに思い、働き続けられる環境を創ってゆき、青年部として、見えるところ、感じるところ、やらねばならないことを見出していきます」とたかがい恵美子と未来を創る会、この1年、様々な場面で、多くのみなさまにお力を頂き、ゴールが近づきました、看護職の未来のために、政策を実現するために皆の力をひとつに。

たかがい恵美子と未来を創る会、顧問を引き受けてくださった、阪本顧問と共にこの1年、看護職以外の多くの皆様に出会う機会と、大きなお力を頂きありがとうございました。

快い疲労の中で、勝利を信じて。



平成22年度 大阪府看護連盟 通常総会プログラム

日 時 平成22年6月3日(木) 13:00~16:30
 会 場 大阪ビジネスパーク円形ホール

第一部

- 12:30 開 場
- 13:00 オリエンテーション
- 13:05 開 会
 物故会員への黙とう
 挨拶 大阪府看護連盟会長
 来賓挨拶・来賓紹介・祝電披露
- 13:20 議長団選出
 ●平成21年度看護連盟通常総会議事録朗読
- 経過報告 ●都道府県会長会 ●都道府県会長・支部長合同会議
 ●都道府県別会議 ●ブロック別会長会議
 ●都道府県看護協会会長・看護連盟会長合同会議
 ●看護協会・看護連盟地区別合同会議
 ●顧問・中央役員合同会議
 ●大阪府看護連盟役員会
 ●平成21年度活動報告・支部活動報告
 ●平成21年度決算・監査報告
- 審議事項 ●平成22年度スローガン(案)
 ●平成22年度活動計画(案)
 ●平成22年度収支予算(案)
 ●平成22年度役員選出(案)
 新役員紹介および旧役員代表挨拶
- 綱領宣言
 連盟の歌斉唱
- 14:35 閉 会

第二部

- 14:40 自由民主党大阪府看護連盟支部総会報告
- 閉 会
- 14:50 終 了

第三部

- 15:00 たかがい恵美子と未来を創る会
- 16:30 終 了

第一号議案 平成22年度 スローガン(案)

ベツトサイドから政治を変える!

第二号議案 平成22年度 活動計画(案)

重点目標

「たかがい恵美子」を
国政に必ず送る

重点活動

- 1.ルールを守って政治活動・選挙運動を進める
- 2.徹底した会員確保対策を進める
- 3.組織の見直しを進める
- 4.「現場の声」を基本に看護政策の実現を促進する

項目	目 標	活 動	手 段・内 容
政治力の強化	政策実現	<ol style="list-style-type: none"> 1) 関連情報を速やかに入手し会員へ伝達する 2) 看護協会とともに陳情・要望活動を行う 3) 看護を支援する国会・地方議員との日常関係を強化する 4) 現場の声を本部を通して国会・地方議員に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護協会との連携、情報交換、機関紙の配布 ・大阪府、大阪市、国会議員・地方議員その他団体への要望・陳情活動の実施 ・選挙応援や看護を考える地方議員の会との連携 ・「現場の声を聞かせてください」の収集報告
	議会への影響力の強化	<ol style="list-style-type: none"> 1) 第22回参議院議員選挙に向けた活動を行う 2) 次期衆議院議員選挙に向けた体制を整備する 3) 関係団体との連携を強化する 4) 大都市対策を進め、会員数を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・候補予定者の周知 ・活動方針の周知 ・府役員と支部役員・リーダーとの連携強化 ・看護を考える地方議員の会との連携 ・ミニ研修の充実 ・基礎研修の充実 ・施設支部の拡大
	2.国会への影響力を強める	<ol style="list-style-type: none"> 1) 国会議員との勉強会を実施する 2) 看護問題対策議員連盟への対応を強化する 3) 国会議員の主催する会合へ出席する 4) 看護連盟主催の研修会へ招待する 	<ul style="list-style-type: none"> ・国会議員の開催する国政報告会や研修会への参加 ・看護連総会への参加 ・総会への案内 ・互礼会への案内 ・決起大会への案内
	3.地方議会への影響力を強める	<ol style="list-style-type: none"> 1) 「看護を考える地方議員の会」の連携を強化する 2) 地方議員主催の会合・研修会へ出席する 	<ul style="list-style-type: none"> ・看護問題について勉強会や意見交換会 ・会合・研修会への出席
	4.中長期的視点に立ち議員候補者を育成する	<ol style="list-style-type: none"> 1) 看護連盟政治アカデミーへの適任者の推薦と支援 2) 卒業生の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・適任者の推薦・支援 ・修了生による研修

項目	目 標	活 動	手 段・内 容	
組 織 の 強 化 ・ 拡 大	組 織 体 制 ・ 活 動	1.組織体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> 1) 会員活動を支部中心とし、会員を増やし、一人ひとりの活動を強化する 2) <u>支部数を増加しきめ細かな支部</u>活動を進める 3) 会員の年齢層別組織の活動を検討し若年層より活動を開始する 4) OB会や施設代表者会の充実・定着を進める 	<ul style="list-style-type: none"> ・会員獲得活動の定着 ・会員目標（9,000人） ・府役員・支部役員・リーダーとの連携 ・支部役員を含む拡大役員会を年1回開催 ・<u>施設支部の増設</u> ・若年層を対象とした政治啓発 ・教育者・看護管理者の政治啓発 ・情報交換・研修
		2.若手会員の育成	1) <u>20歳代会員が主体的に活動する</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>ポリナビワークショップへの支援・研修</u> ・<u>青年部への活動支援</u>
		3.学生会員の獲得と育成	1) 学生会員に看護政策の必要性について学ばせる	<ul style="list-style-type: none"> ・全施設への学生会員申込書の配布 ・アンフィニなどの情報提供 ・ポリナビワークショップ等への呼びかけ
		4.連盟への理解者を増やす	1) 他団体との連携強化	意見交換
	活 発 な 情 報 流 通	1.会員の意見を政策提言に活用する	<ul style="list-style-type: none"> 1) 「現場の声を聞かせてください」を集める 2) 機関誌（おおさか）に各支部会員の声を集め掲載する 	研修後の記載・回収を徹底及び分析
		2.会員及び看護職に対する広報活動を推進する	<ul style="list-style-type: none"> 1) 機関誌を発行する。 2) HPの運営 3) 連盟に対する会員の理解を深める 4) 政治・選挙に関する会員の理解を深め行動する会員をつくる 5) 看護職議員の活動を周知させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・機関誌年3回（5月・9月・1月）発行 ・HP広報の充実 ・連盟紹介のCD・DVDの活用、その他各種グッズの活用 ・施設訪問 ・各支部議員事務所との連携 ・国政報告の開催、議員事務所との連携、機関誌への掲載
	知 識 の 普 及 ・ 啓 発	1.研修会活動を積極的に推進する	<ul style="list-style-type: none"> 1) 支部が中心となり研修会を積極的に開催する 2) 都道府県は支部でできない研修を開催し充実を図る 3) 教育者が看護政策を基礎教育で教育出来るように働きかける 4) 看護管理者が会議へ看護の代表者を送ることの意義を理解し組織活動を進展できるようにするための研修会を開催する 5) 若手会員選挙参加促進のための研修会を開催 6) 支部役員との連盟に関する理解を深める 7) <u>会員基礎研修の実施</u> 8) <u>選挙活動の推進を図るため研修会を開催する</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ・支部研修会開催 ・<u>基礎研修及び研修会開催</u> ・府研修会及び報告会開催 ・<u>管理者研修開催（6月までに）</u> ・若手会員研修・新人研修開催 ・本部プログラム 支部役員徹底研修（23年2月） ・基礎研修開催
	組 織 の 適 正 な 運 営 管 理	1.施設・支部・都道府県・本部・協会の一連した組織活動を推進する	<ul style="list-style-type: none"> 1) 活発な定例会を通して本部・都道府県・支部の連携を強化する 2) 協会との連携を強化し、意思疎通を図る 3) 本部・都道府県・支部間の日常の意見交換を通して意思疎通を図る 4) 支部・施設支部の運営を支援する 	総会、全国会長会、全国会長会議・協会連盟全国合同会議 都道府県会長・支部長合同会議、ブロック別・協会・連盟会長合同会議 県別会議、都道府県会長会議、ブロック別会長会議、大阪府役員会、支部役員会開催 ・役員会は原則として月1回 ・月次報告 ・月次報告
		2.事務局の運営を適正に行う	<ul style="list-style-type: none"> 1) 会員を適正に管理する 2) 財政を適正に管理する 3) 職員を適正に管理する 	・会員管理システムの推進
	会 員 の 福 祉	1.慶弔への対応	1) 規約に基づき対応する	<ul style="list-style-type: none"> ・災害見舞い・物故者への慶弔 ・お祝い・その他
2.諸問題への対応		1) 専門家と相談の上、速やかに問題解決する	・自由民主党弁護士団との連携	

第三号議案 平成22年度 収支予算(案)

自 平成22年4月1日
至 平成23年3月31日

(収入の部)

(単位：円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	差 異	備 考
I 会 費	27,000,000	27,000,000	0	@3,000×9,000人
II 賛 助 会 費	200,000	200,000	0	@1,000×200人
III 研 修 会 会 費	1,000,000	1,000,000	0	
IV 助 成 金	13,526,250	13,404,500	121,750	
V 広 告 料	100,000	100,000	0	
VI 雑 収 入	1,000	1,000	0	
当期収入合計(A)	41,827,250	41,705,500	121,750	
前期繰越収支差額	34,609,642	28,282,464	6,327,178	
収入合計(B)	76,436,892	69,987,964	6,448,928	

(支出の部)

(単位：円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	差 異	備 考
I 会 議 費	5,400,000	4,400,000	1,000,000	
総 会 費	2,500,000	1,800,000	700,000	
役 員 会 費	2,900,000	2,600,000	300,000	
II 事 業 費	51,360,000	45,980,000	5,380,000	
機 関 紙 発 行 費	3,500,000	3,500,000	0	
活 動 費	27,360,000	25,980,000	1,380,000	
教 育 費	6,500,000	6,500,000	0	
組 織 対 策 費	14,000,000	10,000,000	4,000,000	
III 運 営 維 持 費	19,670,000	19,600,000	70,000	
人 件 費	15,000,000	15,000,000	0	
需 給 費	4,670,000	4,600,000	70,000	
IV 予 備 費	6,892	7,964	△ 1,072	
当期支出合計(C)	76,436,892	69,987,964	6,448,928	
当期収支差額(A)-(C)	△ 34,609,642	△ 28,282,464	△ 6,327,178	
次期繰越収支差額(B)-(C)	0	0	0	

第四号議案

役員選出

平成22年度 改選役員候補(案)

市北支部長	交渉中	池田病院支部長	★岡本邦子
市西支部長	本多日出美	堺支部長	坂口晴美
市東支部長	土居徳子	泉南支部長	交渉中
盛和会支部長	★橋口富枝	和泉府中支部長	並木由美
東大阪支部長	★田中二三子	堺ベル支部長	★槇山久美
八尾総合病院支部長	★吉田正美	錦秀会支部長	★時本容子

★印は新施設支部(7施設支部)

研修会 報告

藤野泰平講師若者の心を未来へと導くすいパワー!

—私達の声を実現させるために選挙で投票に行こう—

大阪済生会中津看護専門学校 3年生 宮本愛子

今回、私たちは卒業前の研修の一環として、大阪府看護連盟の講演会に参加させていただき、聖路加国際病院救命救急センター看護師の藤野泰平さんの講演を聴講させていただきました。

現在の看護師の数や、必要なはずなのになぜ看護職員が増えないのか、離職される方が多いのかなど、今まで気にはなっていたけれど原因が曖昧でわかっていなかったことが、藤野さんの講演を聴講したことで、とてもよくわかりました。そして現状を変える為には、法律や政治がとても深く関わっていることを知りました。

私達はこれまで、政治についてあまり関心がありませんでした。しかし藤野さんの講演で現状を知り、一人一人、特に私たちのような若い人たちがもっと関心を持って政治に参加することが大切なのだとも感じました。望ましい労働条件や労働環境などを実現する為には、まずは私たちが動かなければいけません。自分の好きな仕事ができれば、きっと離職率も減り、もっと仕事が楽しくなると思います。そのためにも、看護職の代表を国政に送り、私たちも政治に参加していく必要があることを学びました。これからは一人の看護師として、また社会人として、責任を持って選挙で投票することで政治に参加していこうと思います。

年齢が近い看護師の先輩の講演を聴くことで、より話が身近に感じることができました。

社会人として現場に出る前に、このような勉強の場に参加できて本当によかったです。



—看護の未来を考えよう—

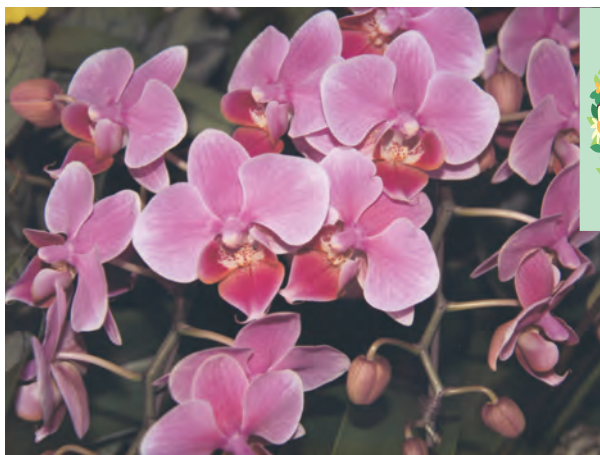
大阪府病院協会看護専門学校 看護学科 3年課程 増田 望

講演を聞き、看護の未来は自分には無関係なことではなく、私たちが行動を起こし、私たちが変えていかなければならないのだと思いました。「私たちの未来は私たちが切り開くしかない」その言葉が強く心に響きました。

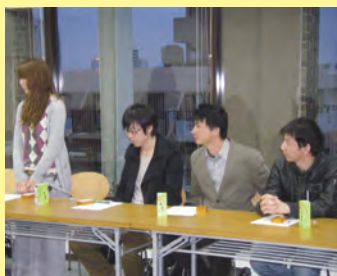
今の自分に何ができるか、何を変えたら看護の未来が変わるのか、それはまだあまりわかりません。

しかしまずは自分が看護の未来についてしっかり考えることが大切だと感じました。

今回の講演会に参加させていただき、このような機会を与えていただいたことに感謝いたします。



青年部立ち上げ



連携

看護を考える市町村議員の会の
議員の先生方と青年部会員



お知らせ

4月1日・2日に「たかがい恵美子」さんが超多忙の中、大阪に入っていたき2日間で病院施設や議員事務所を訪問し、看護職・地域の方々と親しく会話を交わされました。



◀ 床田議員事務所で大歓迎を受けました。
子どもさんが「生たかがい」
どんな人が会いたいと雨の中
会いに来てくれました。
新人看護職と共に...▶



吉水議員事務所にて 皆さん
「生たかがい」の美しさにニコリ。
「応援しよう」と。

編集後記

この頃、新聞・雑誌、テレビ等で毎日のように政治のことが大きく取り上げられています。我々は何を信じ どちらの方向に引っ張られていくのかと、混迷を深めながら政治の動きに強い関心を持っているように思います。

政権交代後も医療面では医師不足や病院の閉鎖、経営母体の変更などが声高に言われる反面、看護職の人員不足や活動内容についての報道はあまり目にも、耳にもしないのはどうしてなのでしょう。看護職の切実な声がしっかり届くような強力な組織をつくり、しっかりアピールをしたいものです。7月参院選頑張りましょう。

I・T



「のおの」・「たかがい」イメージ
互いにかがっちり握手!